

## 公共施設予約システム導入に関するサウンディング型市場調査の実施について

### 1 目的

本格的な事業検討の前段階から民間事業者と対話をすることで、本市が導入しようとするシステムの市場性、仕様、公募条件等について広く意見を聞き取り、市場性のある事業案形成や効果的・効率的なシステムの導入に繋げる。

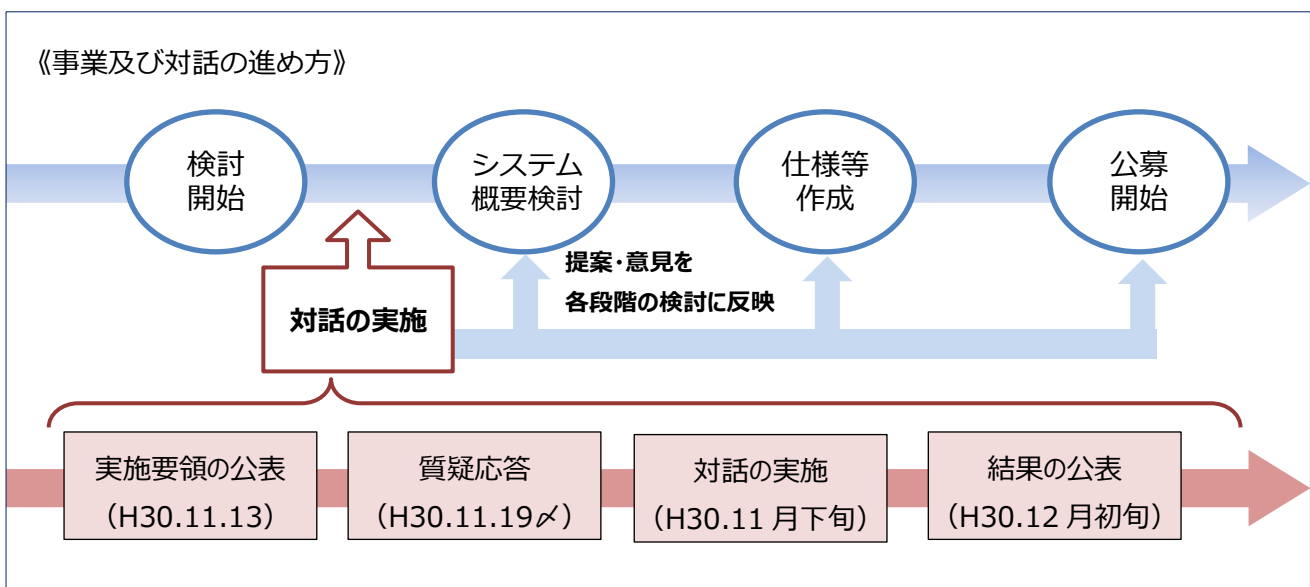
### 2 公共施設予約システム導入の概要

市の公の施設の利用方法について、体育施設についてはT O S Sシステムが導入されており、インターネットでの空き状況の確認や利用予約が可能となっている。一方で、交流館や市民文化会館等の文教施設においては、窓口又は電話での利用予約となっており、市民の利便性に格差がある。そこで、全ての公共施設においてパソコン、スマートフォンからインターネットでの利用予約が可能となるように予約システムの拡大を検討する。

### 3 サウンディング型市場調査の概要

(1) サウンディング型市場調査（以下、「対話」という。）とは

事業を本格的に検討する前段階において広く民間から提案や意見を求めることで、事業に対する市場性の有無やアイデアなどを調査する手法



(2) 日時

平成30年11月26日（月）から平成30年11月30日（金）  
午前9時から午後5時までのうち、1時間から1時間30分程度

(3) 場所

豊田市役所内会議室（豊田市西町3-60）

(4) 対象者

事業を行う意向のある法人又は法人グループ（子会社、関連会社等グループ会社を含む。）

(5) 参加方法（事前申込制）

市ホームページ掲載の「参加申込書」に必要事項を記載し、平成30年11月21日（水）までに行政改革推進課へメール（[gyoukaku@city.toyota.aichi.jp](mailto:gyoukaku@city.toyota.aichi.jp)）で提出。

## 4 対話の内容について

### (1) 本案件の市場性について

①市が想定する「システム導入に当たり重要視する事項」のうち、市場性のない項目は無い。ある場合、どのような条件であれば受注可能か。

②利用調整機能を有した施設予約システムの導入可能性

③利用調整機能を予約システムと切り分けた場合の各システムの導入可能性

④その他、利用調整機能を実現する方法又は利用調整を更に効率よく実施する方法

### (2) 体育施設予約システムとの統合について

①システム移行をする場合のデータの引き継ぎの可否

②その他、システム移行をする場合に懸念される事項

### (3) システムの価格について

①システムを安価に導入する上で、自治体側で努めるべき事項

②本市に予約システムを導入した場合の初期費用及びランニングコストの概算

### (4) システムの運用について

①インターネットに不慣れな利用者及び施設管理者が多い場合の運用上の工夫

②事業者が求める市の予約ルールの平準化の度合い

③使用料支払いのタイミング及び無断キャンセルへの対応方法

### (5) 公募条件等について

①事業者にとって望ましい選定方法（本市では現在プロポーザルを想定）

②事業者にとって望ましい公募条件、審査基準等

### (6) その他の事項について

①施設使用料の支払いのキャッシュレス化に向けた助言

②事業への参画意向、参画にあたっての課題及び行政への要望等